

福井高専 F D講演会 アンケート結果

講演日時：2015年12月2日（水） 14：00～16：00

講演場所：福井高専 一般教育棟 大講義室

講演演題：あなたの教育にかける思いを聞かせてくださいーティーチング・ポートフォリオの紹介ー

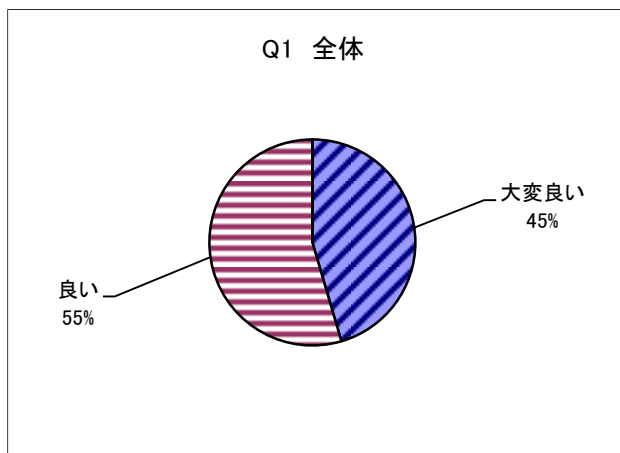
講師：大阪府立大学工業高等専門学校 教授 北野健一

アンケート回収：33通

Q. 1 今回の講演会は全体としていかがでしたか。

①大変良かった 15名(45%) ②良かった 18名(55%)

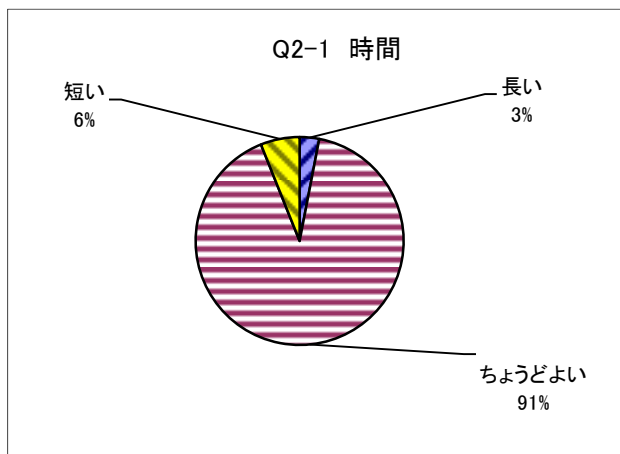
③良くなかった 0名(0%) ④全く良くなかった 0名(0%)



Q. 2 今回の講演ではティーチング・ポートフォリオを理解していただくことが第一の目的でした。この目的を達成するために、

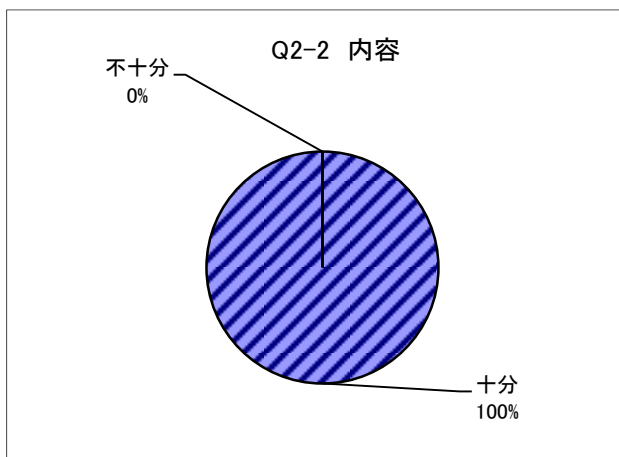
2-1 講演時間はいかがでしたか。

①長い 1名(3%) ②ちょうどよい 30名(91%) ③短い 2名(6%)



2-2 講演内容についてはいかがでしたか。

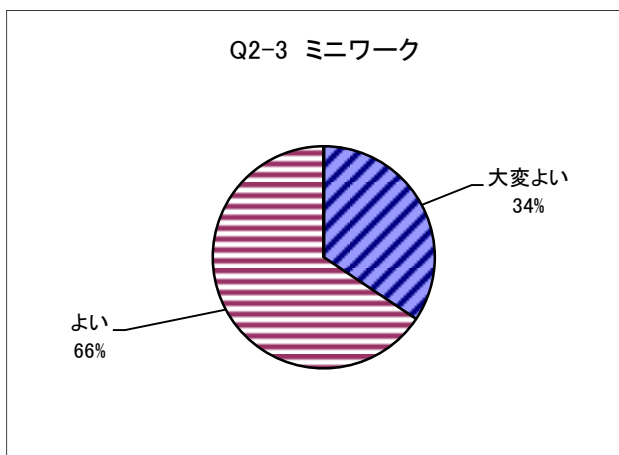
①十分であった 33名(100%) ②不十分であった 0名(0%)



* 不十分であったと感じられた部分についてお聞かせ下さい。
記載はありませんでした。

2-3 ミニ TP ワークはいかがでしたか

①大変よかった	11名(34%)	②よかった	21名(66%)
③よくなかった	0名(0%)	④全くよくなかった	0名(0%)

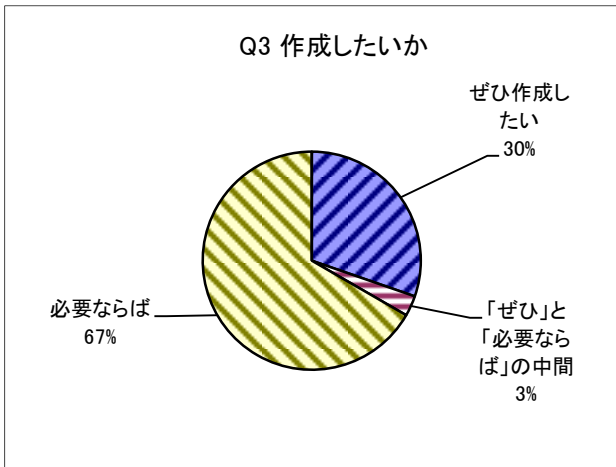


* 上記のように答えた理由についてお聞かせ下さい。

②	教育について改めて考える機会になった。
②	自分について改めて考える(見直す)ことができた。
①	良さを実感するのにちょうど良い時間だった。
②	擬似体験ができたこと。
②	やって来た教育の整理が出来た。
②	大変な作業であり、必要な作業であることは理解できた。
①	振り返る良い機会となりました。
②	普段話す機会の少ない人とワークができて良かった。
②	立場の異なる方と日ごろの教育についてお話できたから。
①	内省する上でとても役立った。
②	時間が短かったが、どんな感じのものかわかった。
①	実際にやるという経験が大切です。
②	ポートフォリオについて、具体的に触れることができたので。
②	手法について学べた。
①	簡単でも振り返る時間、教員同士で”教育”について会話する時間をきちんと持てたことが有意義です。
	都合により参加できません。参加したかったです。

Q. 3 ティーチング・ポートフォリオを作成したいと思いませんか。

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ①ぜひ作成してみたい | 10名(30%) |
| ②必要ならば作成してもよい | 22名(67%) |
| ③できれば作成したくない | 0名(0%) |
| ④「ぜひ作成してみたい」と「必要ならば作成してもよい」の間 | 1名(3%) |



Q. 4 ティーチング・ポートフォリオについてどのような印象を持たれましたか。

その可能性, 限界, 課題についてなど, ご自由にお書き下さい。

やり方、方法に縛りが少なく、自由なのが心地よく思いました。自然体で取り組めると思います。
作成に時間がかかりすぎる。
質問とはややズレますが、職員向けのものも、もう少し紹介いただければ嬉しかったです。
ティーチング・ポートフォリオは教員にとって必要なものだと思います。是非自分でも取り組んでいきたいと思えます。
教育の成果を指し示すことができる良いシステムであると理解できた。
エビデンスの無いものについての扱いをどのようにするかをより知りたい(講演に入れて欲しい)です。
理念を定めてしまうと、それに沿った事例ばかり恣意的に集めてしまわないかという懸念がある。
教員間での共有、プレゼンがポイントだと感じました。
自分のこれまでを振り返るために、是非 TP を作成してみたい。
初めての経験でした。自分の思っていた事が整理できた。
数ある FD の中で最も興味を持つことができました。
情報交換、意識共有をいう点で組織にとって有意義でした。
自分の根っこを見つける、みつめなおすのに、非常に有効であろうと思えました。
メンターの質を保証していくことが、より良い作成ワークショップのために不可欠だと考えます。
自分の活動の確認をできればと思っていたので、機会があれば作成したいと思えます。

以上